

《岡谷市》 岡谷市ボランティアセンター

〔センターの基本事項〕

所在地	〒394-0081 岡谷市長地権現町4-11-50		
電話 F A X	0266-24-2121	0266-24-3555	
電子メール	info@okaya-shakyo.or.jp		
H P アドレス	http://www.okaya-shakyo.or.jp		
職員数	正規	1名	嘱託
	臨時	—	その他
開所日と時間	事務局内 8:30～17:15（土日祝祭日、年末年始を除く）		
	ボランティアセンター 8:30～21:00（毎月第3水曜日、年末年始を除く）		
情報誌	アザレア		
	年2～3回発行		
来所者数	年間 1345名		

〔センターの運営方針・指針等〕

--

〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	無料、対象者：岡谷市社協に登録しているボランティアのみ使用可能
フリースペースの設置	—	
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	コピー機・印刷機（有料）、パソコン（使用は無料、印刷は有料） 対象者：岡谷市社協に登録しているボランティアのみ使用可能
福祉体験器具等の貸出	<input type="radio"/>	車いす、高齢者擬似体験セット、点字器、ビデオ・DVD（破損・紛失は弁償） 対象者：学校、施設等
登録グループの専用ポストの設置	—	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	無	規約	無
名称	—		
委員構成	—		
事業への関わり	—		
工夫点	—		
課題点	—		

〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	おかやボランティア連絡協議会		
設立年月	平成15年11月		
設立経過	平成10年頃に発展的解消をしたボラ連があったがその後再結成はしていなかった。平成15年9月に岡谷市社協の移転に伴い独立したボランティアセンターができ、その部屋を有効に使うためにもう一度という声が上がって再結成した。		
協議会構成	ボランティア活動をしている団体・個人が加入している。 平成23年1月現在 団体：25団体 個人：12名		
工夫点	社協と連携はしているが社協に事務局は置かず、ボランティアが運営等の主体となり活動している。		
課題点	研修会、交流会などの行事参加者が固定されてきているので、呼びかけ方・内容などの検討が必要。		

〔財源〕

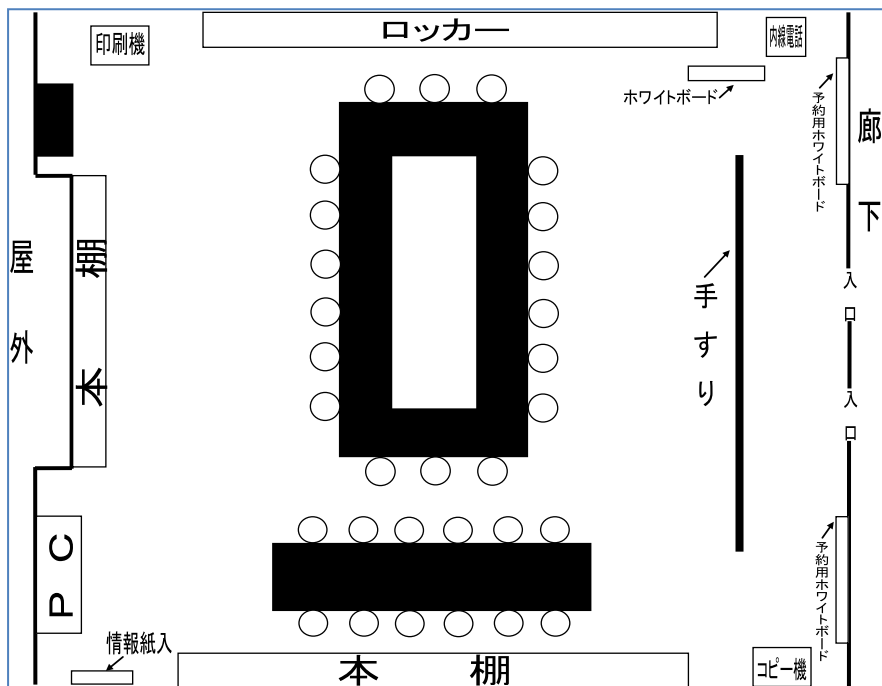
人 件 費	独自財源	—	
	共同募金	—	
	委託料・補助金	○	行政
	民間助成金	—	
	その他	—	

事 業 費	独自財源	○	社協会費
	共同募金	○	
	委託料・補助金	—	
	民間助成金	—	
	その他	—	

〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？	担当部署・担当職員間で事業計画を立案している。
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？	—
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？	—
○社協VC以外の中間支援機関について 社協が運営するVCとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？	—
○連携するNPOや関係機関について VCの事業・運営において連携・協働しているNPOや関係機関等がありますか？	
連携・協働先	連携・協働内容
—	—
—	—
—	—
○センターの強みと弱みについて	
<p>《強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人に会う事ができ、情報交換をすることができる。 ・情報や人脈を元に地域などでつながりを作ることができる。 	<p>《弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアに関わりが少ない人たちとのつながりを作ることが難しい。 ・1人で担当しているため、振り返りや反省などができず、良い悪いの判断がつきにくい。

○VC見取り図



○他市町村社協ボランティアセンターについて センター運営や事業実施に関して、他市町村社協VCに聞いてみたいことや知りたいことなど

ボランティアセンターの重点事業について

事業名	ふれあい祭り&ボランティア祭り
目的	障害者の社会参加を拓げる為、障害を持った人と地域の人たちとのふれあいの中で相互の交流と障害者への理解を深める「ふれあい祭り」とボランティア活動振興の一環として「ボランティア祭り」を同時開催し活動内容の発表の場づくりを行い、市民へのボランティア啓発を図る。
開催頻度	年1回（10月）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア、福祉に関する講話 ・ ボランティア団体活動発表（実演・展示） ・ 車いす、高齢者擬似体験 ・ ふれあいコーナー（ぼんぼん、わたあめ、ポップコーン、ゲームなど） ・ 障害者団体の作品販売 ・ 吹奏楽部の演奏（中学生）、ダンス披露（小学生） ・ 昼食（カレーライス）の提供 など
対象者	市民（だれでも参加可能）
企画のポイント 事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ “誰もが楽しめるお祭りを” ということを中心に考えている。 ・ おかやボランティア連絡協議会と共催することで、柔軟で楽しいアイデアが出てくるので、毎年充実した祭りになっている。 ・ 年々協力してくれるボランティアさんが増え、“楽しくボランティアを” という思いが伝わっているように感じる。
参加者の声や その後の動き など	開催が近付くと「今年は何をやるのか？」という問い合わせが来たり、「手伝いは何人必要か？」など、積極的に参加してくれる人が増えてきている。

事業の様子

